

Information_12

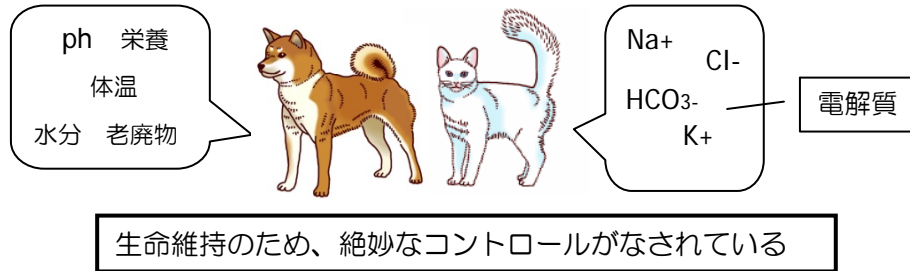


点滴治療のおはなし

嘔吐や下痢が続く時、また何らかの理由で食事や水分を摂れない時に真っ先に心配する症状の一つが「脱水」ではないでしょうか？
そんな時に病院で行われる、点滴治療のおはなしです。

体液の役割

「動物の体の60%は水分できている」といわれます。体を作っている60兆個もの細胞内やその周囲、血液中など全身に存在します。
体内の水分(=体液)は単なる水ではなく、塩分やミネラルなどを含んでいます。体液は生命維持のため、酸素や栄養分・老廃物の運搬、体温・pHの調節といった重要な役割を果たしています。



脱水の評価

| | 脱水量 | 臨床症状 |
|----|--------|----------------------|
| 軽度 | 5%以下 | 変化なし |
| | 6% | 立てる。元気消失。口腔粘膜の軽度の乾燥。 |
| 中度 | 8% | 眼が落ち窪む。活動性の大幅な低下。 |
| 重度 | 10-12% | 四肢と皮膚の冷感。立てない。 |
| | 12-15% | 死期切迫。ショック症状。虚脱状態。 |

点滴治療の目的

体液は微量の電解質を含んでいます。下痢や嘔吐、食欲不振などで体内の電解質や水分が不足すると生命維持機能に支障をきたします。

口からの摂取が困難な場合に、点滴で水分や電解質、栄養分を補い、水分量・電解質バランス・pHの調整や栄養状態の正常化を図ります。

点滴の種類と特徴

点滴にはおおまかに、血管(静脈)に輸液を投与する「**静脈点滴**」と皮膚の下に輸液を投与する「**皮下点滴**」の2種類があります。

| 静脈点滴 | | 皮下点滴 |
|-----------------------|------|------------------------|
| 長い時間が必要 | 投与時間 | 短時間で投与できる |
| 適量を適切な速度で投与できる | 投与量 | 大量の投与はできない |
| 速い | 効果 | ゆっくり |
| 重症例に適する | 症例 | 軽症例。重症例には不適 |
| 血管を確保する処置が必要 入院が必要 | その他 | 投与部分が一時的に膨らむ 通院で行える |

スタッフより

脱水状態になってしまった場合、単純な水分の補給だけでなく、電解質の補正がとても大切です。人間用で電解質を含む経口補水液が販売されていますよね。

健康な体の中では日々、電解質が複雑で絶妙な生きるための調整をしているのです。

